

令和3年度 学校教育に関するアンケート集計結果

提出率:生徒84.4% 保護者67.9%

設問		■ とてもそう思う ■ どちらかというと思う ■ どちらかというと思わない ■ 思わない ■ わからない
1 学校で行っている「基礎・基本の学習内容の確実な定着」や「個に応じた学習支援の工夫」は効果的であり、生徒の『学力』は高まってきている。	生徒	11% 63% 26%
	保護者	5% 42% 32% 11% 11%
	教職員	60% 40%
2 学校で行っている家庭学習の習慣化に向けた取り組み（学び方、生活リズム、宿題点検等）は効果的であり、生徒は『家庭学習の習慣』が身につけてきている。	生徒	7% 44% 37% 11%
	保護者	5% 37% 37% 11% 11%
	教職員	10% 40% 50%
3 学校で行っているコミュニケーション能力（自分の考えを発表したり、他の考えを聞いたりする力）の育成は効果的であり、生徒は社会で生きる『コミュニケーション能力』が高まってきている。	生徒	41% 44% 15%
	保護者	11% 63% 16% 11%
	教職員	80% 20%
4 学校で行っている『豊かな心』をはぐくむ教育は適切であり、生徒は、いじめを許さず、仲間と助け合って生活していこうとする心が育っている。	生徒	67% 26% 4% 4%
	保護者	37% 58% 5%
	教職員	10% 60% 30%
5 学校で行っている街頭指導、生徒会の取り組みは効果的であり、生徒は家族や地域のひとに対してきちんと『あいさつ』をしている。	生徒	67% 22% 7% 4%
	保護者	32% 58% 11%
	教職員	40% 60%
6 学校で行っている生徒指導は適切であり、生徒は『社会のルールやマナー』を守る意識が育っている。	生徒	48% 37% 15%
	保護者	32% 58% 5% 5%
	教職員	20% 70% 10%
7 学校が行っている体育や部活動などの様々な取り組みは効果的であり、生徒は健康の維持を意識し、『体力が向上』している	生徒	30% 63% 7%
	保護者	58% 16% 11% 16%
	教職員	20% 40% 30% 10%
8 世界のひまわり栽培活動をはじめ、旅行的行事、職場体験学習は適切であり、あなたのお子さんは、『自然に親しみ、郷土を愛する』心が育っている	生徒	63% 30% 4% 4%
	保護者	37% 58% 5%
	教職員	70% 30%
9 進路指導の情報提供、学校の様子がわかる「学校だより」「ホームページ」等の発信は十分満足である。	生徒	63% 33% 4%
	保護者	32% 53% 16%
	教職員	50% 50%
10 「学級懇談会」や「個人面談」など、ご家庭との連携の機会は十分満足である。 ※生徒⇒「教育相談」や「教科相談」、「日常の交流」などを通して、学校の先生との相談体制の機会は十分満足である。	生徒	67% 30% 4%
	保護者	16% 37% 21% 11% 16%
	教職員	10% 50% 40%
11 地域の教育力や人材の活用、小学校との連携は適切であり、地域とともにある学校が構築されてきている。 ※生徒⇒地域の方の話やひまわり活動、小学校との連携により、地域とともにある学校である。	生徒	59% 30% 7% 4%
	保護者	11% 53% 16% 5% 16%
	教職員	10% 50% 40%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

保護者の皆様からおおむね高い評価(肯定的評価 A と B 合算で 90%以上の評価)をいただいたのが「設問 3：豊かな心」、「設問 5：のあいさつ」、「設問 6：社会のルールやマナー」、「設問 8：自然に親しみ、郷土を愛する心」の項目でした。

反面、課題になる低い評価(肯定的評価 A と B 合算で 70%未満の評価)は「設問 1：学力」、「設問 2：家庭学習の習慣」、「設問 10：相談体制」、「設問 11：地域とともにある学校」となりました。

「学力」は、テスト等で数値化されて見えてきます。目指している結果に結びつかない現状やもっとできるという期待値があることが考えられます。学力の定着を図るための授業改善はもちろんですが、子どもたちの学力が定着するような取組を行っていきたいと思います。

「家庭学習の習慣」は、生徒自身も評価が低く、家庭での学習が充実していないことが読み取れます。習慣化に向けて学校でもアドバイスを続けます。やられる学習ではなく、自分自身が学びたいと思う主体性をもった学習が習慣化されるよう家庭と連携し取り組んで参りたいと思います。

「相談体制」、「地域とともにある学校」は、生徒の評価は高評価であることを考えると、前期のコロナ禍での学級懇談や参観日、陸上記録会、学校祭の縮小開催など保護者が学校に来校する機会が少なくなったことが考えられます。可能な限り、相談する機会を確保して参りたいと思います。また、地域の人材を活用した授業や小学校と連携した取組などを通して地域一丸で生徒の教育に力を入れて参ります。

貴重なご意見

【項目 1】「自ら学び、確かな学力を身につける生徒の育成」

- ・生活リズムや勉強の仕方の工夫を指導してほしい。
- ・「自ら学ぶ」はとても良いとても思います。
- ・苦手教科の学習に対して、もっとフォローしてほしい。

【項目 2】仲間を理解し、ともに生きようとする生徒の育成

- ・不登校の子に対しての理解が難しいようです。

【項目 3】ままりを守り、すすんで責任を果たす生徒の育成

- ・教師が行動や言動など、しっかり見本となってほしい。

【項目 6】保護者、家庭との連携

- ・学級通信で、子供たちの行動をもう少し詳しく知りたい。

【項目 7】地域、小学校との連携

- ・小学校時と違い、自立心を伸ばしたいのだと思うが連絡や相談、お知らせが遅い。

【項目 8】その他

- ・いろいろな事に対する細かい連絡がなく、わからなかった。たとえば、保護者が朝街角に立ち子供達を見守る担当だったのですが、前日にプリントや腕章が親まで届かなかったが、当日現場に行くと誰もいなかった。一緒に立つはずの先生もいなかった。学校からの連絡もなかった。親も行かなくて良かったのか？入学式後にもらったプリントの内容と違う。実際にはどのような仕組みになっているのかわからないので細かい説明をして欲しかった。いまだに、正確な事はわからない学校に確認してない自分も悪いのですが。

【貴重なご意見に対して】

- ・通常の授業以外にも、学習に対しての支援として、教育相談や教科相談等がございます。相談期間以外でも学習に関する相談がございましたらいつでもお声がけください。
- ・不登校の経験をしていない人にとって不登校の子どもの気持ちが理解については難しいものがあるかもしれません。不登校の理由は人それぞれですが、ともに学びができるよう支援して参ります。
- ・教師の行動や言動については、子どもの手本となるよう気をつけて参ります。
- ・職員の勤務時間にも限界があり学級通信の発行を増やすことは難しいものがあります。内容については、子どもの行動がわかりやすく伝わるように努力いたしますが、詳細を家庭にて聞くなどお子様との会話に活用いただくと幸いです。
- ・各種連絡が遅くなりご不便をおかけし、申し訳ございません。年間行事は年度当初にお知らせしておりますが、改めての再案内、年度途中で決まった行事等のお知らせはできるだけ早くお伝えいたします。また、交通安全街頭指導については前日にお子様を通して腕章が渡る仕組み、悪天候時は中止（各自で判断）となっております。腕章とプリントが前日に届かず申し訳ございませんでした。確実に渡るように気をつけます。今年度は本校職員も含めて街頭指導の日にちを間違えた方がいたのは事実です。日にちの間違いのないよう、連絡体制を整えて参ります。